

令和7年度認定産業医研修・産業保健セミナー開催予定表

群馬産業保健総合支援センター

< 認定産業医研修 >

定員:40名

番号	開催日時	テーマ・内容	講師	単位	開催場所
D-09	7月3日(木) 14:00～16:00	『熱中症について～予防と対策～』 毎年恒例の熱中症の研修です。 本格的な暑さを迎える前に予防の基本を再確認し、対処法および作業環境管理と作業管理を学びましょう。 ※6/13開催のセミナーと同内容となります。	衛生工学担当 小川純一相談員	生涯 専門 2	群馬県 市町村会館 502研修室
D-10	7月16日(水) 14:00～16:00	『産業医総論』 産業医には「働く人の健康確保」をするため、労働衛生(産業保健)に関する専門的知識・経験に基づく労働者の健康障害の予防のみならず、労働者の心身の健康の保持増進、さらに快適な職場環境の形成に関する助言、指導等が期待されています。近年、ストレスチェック制度の導入や過重労働による健康障害の防止等の重要性が増す中、2019年4月には働き方改革関連法の施行により法律上の権限が強化され、産業医に求められる役割も変化、対応すべき業務は増加し産業医活動も若干変わってきております。 本研修では、産業保健活動の基本となる労働衛生の3管理(作業管理、作業環境管理、健康管理)を中心に産業医の職務と役割、実際の産業医活動について、お話しいたします。	産業医学担当 内田満夫相談員	生涯 専門 2	群馬県 市町村会館 501研修室
D-11	8月1日(金) 14:00～16:00	『石綿関連疾患の胸部画像の読影実習』(実習) アスベスト関連疾患の診断に関しては、エックス線写真の読影等が必要になっていますが、その判断には困難な事例が多く、また、医学的な知識・経験に加え、石綿ばく露等についての知識も必要となります。 本研修では、講義形式による画像診断のポイント解説の後、実際の症例画像を用いた読影診断実習を行います。 ※産業医を対象とした研修となります。 ※症例画像を用いた読影診断実習があります。	川崎医科大学 総合放射線医学 教授 加藤勝也氏 旭労災病院 健康診断部 部長 横山多佳子氏	生涯 実地 2	群馬県 市町村会館 501研修室
D-12	8月7日(木) 14:00～16:00	『ストレスチェック結果の活用』 ストレスチェック制度開始から10年が経過しました。ストレスチェックは実施しているものの、その結果について、十分に活用されていない事業所もあるのではないのでしょうか。 本研修では、改めてストレスチェック制度について再確認をおこない、ストレスチェック結果の活用の仕方についてお話しをします。	メンタルヘルス担当 竹内一夫相談員	生涯 専門 2	群馬県 市町村会館 502研修室
D-13	9月2日(火) 14:00～16:00	『傾聴とメンタルヘルス～安心ルーティンを身に付けよう～』(実習) 現代はストレス社会とも呼ばれ「心(メンタル)」の問題は切っても切り離せない関係にあります。面談をおこなったりメンタルヘルス対策を進める上ではコミュニケーションを図る事がとても重要ですが「どの様に接したらよいか解らない」「対応が難しい」といった意見を多く聞きます。 本研修では、課題演習を通して傾聴のステップを踏まえた「聴き方」「言葉の返し方」を学び、相手の気持ちに寄り添うコミュニケーションを身に付けます。 ※隣の方とペアになっておこなう演習があります。	カウンセリング担当 大小原利信相談員	生涯 専門 2	群馬県 市町村会館 501研修室
D-14	9月4日(木) 14:00～16:00	『物理的因子による皮膚障害(職業性皮膚疾患)』 職業と密接に関連した疾病は職業性皮膚疾患と呼ばれています。 職業性皮膚疾患は多彩であり、発生頻度では職業性疾患全体の首位を占め、接触皮膚炎(かぶれ)、光接触皮膚炎(光が関係したかぶれ)、ざ瘡(にきび)、色素異常(肌の色の变化)、紫外線障害(紫外線による皮膚の炎症)、慢性放射線皮膚炎(放射線による皮膚の障害)、タール・ピッチ皮膚症、砒素皮膚症、熱傷(やけど)、凍傷(寒さによる皮膚の障害)、皮膚癌、皮膚循環障害、感染症があります。 本研修では、職業性皮膚疾患について解説し、予防、対処法、治療法について解説します。	産業医学担当 岡田悦子相談員	生涯 専門 2	群馬県 市町村会館 501研修室

D-15	9月9日(火) 14:00～16:00	『脳卒中の予防と治療』 年間およそ10万人もの人が脳卒中で亡くなっています。日本人の死因の第4位で、寝たきりや介護が必要になる主な原因の一つです。突然起こるのが特徴ですが、生活習慣の改善等により、脳卒中の90％は予防可能といわれています。 本研修では、日常生活の注意点や最新の知見・治療についてお話いたします。	群馬大学医学部 脳神経外科 藍原正憲氏	生涯 専門 2	群馬県 市町村会館 501研修室
D-16	9月10日(水) 14:00～16:00	『産業医活動に必要な労働法規』(更新) 産業医活動を行っていく上で関係する労働法規を把握する事は重要です。 本研修では、産業医活動に必要な労働法規についてお話いたします。	産業医学担当 瀧上知恵子相談員	生涯 更新 2	群馬県 市町村会館 501研修室
D-17	9月24日(水) 14:00～16:00	『転倒予防に関する研修』(実習) 近年、転倒による労働災害が増加しております。 定年延長や再雇用者の増加もあり転倒予防は仕事をおこなう上でも大変重要になってきております。 本研修では、職場の転倒予防に役立てる様に、転倒が起こる要因についてお話しするとともに、転倒のリスクチェックや簡単な予防運動などを実際に体験して頂きます。 ※体を動かしますので、動きやすい服装でお越し下さい。	(一社)健康 労働支援協会 代表理事 鳥毛正弘相談員	生涯 実地 2	群馬県 市町村会館 501研修室

<産業保健セミナー>

番号	開催日時	テーマ・内容	講師	人数	開催場所
S-10	7月3日(木) 14:00～16:00	『熱中症について～予防と対策～』 毎年恒例の熱中症の研修です。 本格的な暑さを迎える前に予防の基本を再確認し、対処法および作業環境管理と作業管理を学びましょう。 ※6/13開催のセミナーと同内容となります。	衛生工学担当 小川純一相談員	10名	群馬県 市町村会館 502研修室
S-11	7月16日(水) 14:00～16:00	『産業医総論』 産業医には「働く人の健康確保」をするため、労働衛生(産業保健)に関する専門的知識・経験に基づく労働者の健康障害の予防のみならず、労働者の心身の健康の保持増進、さらに快適な職場環境の形成に関する助言、指導等が期待されています。近年、ストレスチェック制度の導入や過重労働による健康障害の防止等の重要性が増す中、2019年4月には働き方改革関連法の施行により法律上の権限が強化され、産業医に求められる役割も変化、対応すべき業務は増加し産業医活動も若干変わってきております。 本研修では、産業保健活動の基本となる労働衛生の3管理(作業管理、作業環境管理、健康管理)を中心に産業医の職務と役割、実際の産業医活動について、お話いたします。	産業医学担当 内田満夫相談員	10名	群馬県 市町村会館 501研修室
S-12	7月25日(金) 14:00～16:00	『【Web受講可】セルフケア研修～ストレスとその対処法～』 ストレスというとかくネガティブなイメージをもたれがちですが、ストレスそのものが悪いわけではありません。誰しも多かれ少なかれストレスはあります。ストレスを過度にためない、また、適度なストレスとうまくつきあっていくためには、自身がストレスに気づき、これに対処するための知識・方法を身に付け、実施することが重要です。 本研修では、ストレス要因に対するストレス反応についてお話しすると共に、セルフケアの阻害要因のアディクションについてもお話します。 オンライン(Web)での参加をご希望の方は、お申込みフォーム下部の「質問・相談・要望・リクエスト」欄に「Web参加希望」と必ず記載しお申込みください。 Web参加にはZOOMが利用できる環境が必要になります。 研修の1週間前に配信URL等を記載したメールを送信致しますので、メールのご確認をお願い致します。 メールが届かない場合は、ご連絡ください。	カウンセリング・ 保健指導担当 小笠原映子相談員	15名	群馬メディカル センター 2階セミナー室

S-13	8月7日(木) 14:00～16:00	『 ストレスチェック結果の活用 』 ストレスチェック制度開始から10年が経過しました。ストレスチェックは実施しているものの、その結果について、十分に活用されていない事業所もあるのではないのでしょうか。 本研修では、改めてストレスチェック制度について再確認をおこない、ストレスチェック結果の活用の仕方についてお話しをします。	メンタルヘルス担当 竹内一夫相談員	10名	群馬県 市町村会館 502研修室
S-14	8月26日(火) 14:00～16:00	『 腰痛予防の運動・ストレッチについて 』 労働災害の約4割を占めております腰痛は、要因の一つとして労働者の高齢に伴う筋力の低下、柔軟性の低下が上げられております。 今回は、労働者が積極的に行える腰痛予防対策として、腰痛の労働災害状況や、腰痛と筋力・柔軟性のかかわりについて、また、腰痛予防に効果的な体操・筋力運動・ストレッチを実技として体験をしていただきます。 ※体を動かしますので、動きやすい服装でお越し下さい。	日本運動指導士会 群馬県支部 副支部長 斉藤智子相談員	10名	群馬メディカル センター 2階セミナー室
S-15	9月4日(木) 14:00～16:00	『 物理的因子による皮膚障害(職業性皮膚疾患) 』 職業と密接に関連した疾病は職業性皮膚疾患と呼ばれています。 職業性皮膚疾患は多彩であり、発生頻度では職業性疾患全体の首位を占め、接触皮膚炎(かぶれ)、光接触皮膚炎(光が関係したかぶれ)、ざ瘡(にきび)、色素異常(肌の色の变化)、紫外線障害(紫外線による皮膚の炎症)、慢性放射線皮膚炎(放射線による皮膚の障害)、タール・ピッチ皮膚症、砒素皮膚症、熱傷(やけど)、凍傷(寒さによる皮膚の障害)、皮膚癌、皮膚循環障害、感染症があります。 本研修では、職業性皮膚疾患について解説し、予防、対処法、治療法について解説します。	産業医学担当 岡田悦子相談員	10名	群馬県 市町村会館 501研修室
S-16	9月9日(火) 14:00～16:00	『 脳卒中の予防と治療 』 年間およそ10万人が脳卒中で亡くなっています。日本人の死因の第4位で、寝たきりや介護が必要になる主な原因の一つです。 突然起こるのが特徴ですが、生活習慣の改善等により、脳卒中の90%は予防可能といわれています。 本研修では、日常生活の注意点や最新の知見・治療についてお話しいたします。	群馬大学医学部 脳神経外科 藍原正憲氏	10名	群馬県 市町村会館 501研修室
S-17	9月17日(水) 14:00～16:00	『 ゲートキーパー講座【事例検討・職場編】 』 企業ではグローバル化と言われる環境下で事業を進めておりそこで働く方々のストレスが増している現状と思います。 そのため、メンタルヘルス不調や自死する方も少なくありません。 本研修では、「安心ルーティーン」(気配り、気づき、声かけ、傾聴、つなぐ・見守る)を身に付け、職場での自殺予防やメンタルヘルス対策についての理解を深めます。 ※昨年度実施の「自殺予防のためのラインケア」と同じ内容です。 ※隣の方とペアになっておこなう演習があります。	カウンセリング担当 大小原利信相談員	15名	群馬メディカル センター 2階セミナー室
S-18	9月24日(水) 14:00～16:00	『 転倒予防に関する研修 』 近年、転倒による労働災害が増加しております。 定年延長や再雇用者の増加もあり転倒予防は仕事をおこなう上でも大変重要になってきております。 本研修では、職場の転倒予防に役立てる様に、転倒が起こる要因についてお話しするとともに、転倒のリスクチェックや簡単な予防運動などを実際に体験して頂きます。 ※体を動かしますので、動きやすい服装でお越し下さい。	(一社)健康 労働支援協会 代表理事 鳥毛正弘相談員	10名	群馬県 市町村会館 501研修室

<開催場所・駐車場のご案内>

①群馬メディカルセンター:前橋市千代田町1-7-4(027-233-0026)

駐車場はありません。お近くの有料駐車場をご利用下さい。

②群馬県市町村会館:前橋市元総社町335-8

無料の駐車場があります。

<申し込み方法>

参加は無料です。

全ての研修にどの職種の方もご参加いただけます。

必ず事前のお申し込みをお願い致します。

お電話でのお申し込みは受け付けておりません。

【ホームページよりお申し込みの場合】

当センターホームページの「研修・セミナー」からお申し込み下さい。

【FAXにてお申し込みの場合】

「認定産業医研修・産業保健セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上お申し込み下さい。

申し込み受付後、2～3日で受付番号を記入し、返送致します。返送が無い場合にはご連絡下さい。

(宛先)群馬産業保健総合支援センター
FAX:027-233-9966

- ・申し込み受付後、2～3日で受付番号を記入し、返送致します。返送が無い場合にはご連絡下さい。
- ・定員に達した場合は、ご連絡致します。
- ・電話番号は、こちらからご連絡をする場合がありますので、必ず連絡が取れる電話番号のご記入をお願い致します。

↓太枠内のみを記入し、※印の欄は記入しないで下さい。

認定産業医研修・産業保健セミナー参加申込書

申込日： 年 月 日

※受付日： 年 月 日

必ず全項目のご記入をお願い致します。

(未記入にならない様にお願い致します)

該当しない項目は「無し」とご記入ください。

[illegible]

開催日	テーマ	※受付番号
月 日		※
月 日		※
月 日		※
月 日		※
月 日		※